

起立性調節障害（OD）による不登校を防ぐための

教員が取るべき対応に関する一考察

山中 愛海（京都教育大学）

1. 目的

本研究の目的は、学校や教員がとるべき起立性調節障害（OD）児への適切な対応について検討し、対応の流れをまとめたフローチャートを作成することである。そのため、以下の2つの研究課題を設定した。

研究Ⅰ：小・中学校教員における起立性調節障害の理解及び対応経験（アンケート調査）

研究Ⅱ：起立性調節障害のある児童への対応経験を有する養護教諭の語りから探る OD 児への対応の重点事項（インタビュー調査）

2. 研究Ⅰ（小・中学校教員へのアンケート調査）

- 1) 対象者：関西地方 A 県内の公立の小学校 2 校と中学校 2 校に勤務する教員 110 名
- 2) 調査項目：①属性、②不登校児への対応、③起立性調節障害への理解、④OD 児との関わりの経験に関する 4 項目とした。
- 3) 結果と考察：分析対象者は、若手教員が約半数を占めていた。単純集計の結果、約 6 割の教員が OD 児との関わりがあり、近年 OD 児が増えてきていることが推察された。一方で、具体的な OD の症状についての正答率が低く、OD の特性や配慮すべきことまで深く理解している教員は少ないことが示唆された。

3. 研究Ⅱ（養護教諭へのインタビュー調査）

- 1) 対象者：関西地方 A 県内 B 市内の公立小学校に勤務する養護教諭 3 名
- 2) 調査項目：①現在の学校の状況・教員の OD に対する理解度、②児童生徒への対応、③保護者への対応、④教員間や関係機関との連携に関する 4 項目とした。
- 3) 結果と考察：事例をもとに教員が取るべき対応について検討し、以下の点が重要であること

が明らかになった。

- ・保護者、担任、養護教諭の連携
- ・保健室登校や午後からの登校などその子にあった登校スタイルを考えること
- ・関係機関との連携（病院で受診、スクールカウンセラーとの面談など）
- ・授業内容や時間割などの工夫
- ・セカンドオピニオンの重要性

4. 結論

研究Ⅰ、Ⅱの結果を踏まえ、学校現場での OD 児への適切な対応のフローチャート（図）を作成した。

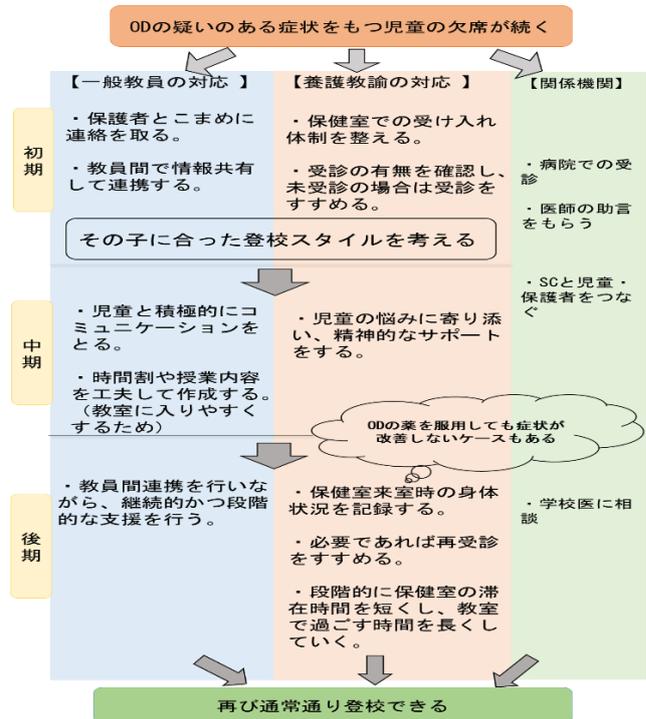


図 OD 児への適切な対応のフローチャート

5. 主な参考文献

田中英高. 不登校を伴う起立性調節障害に対する日本小児心身医学会ガイドライン集を用いた新しい診療. 心身医学. 53(3): 212-222. 2013.